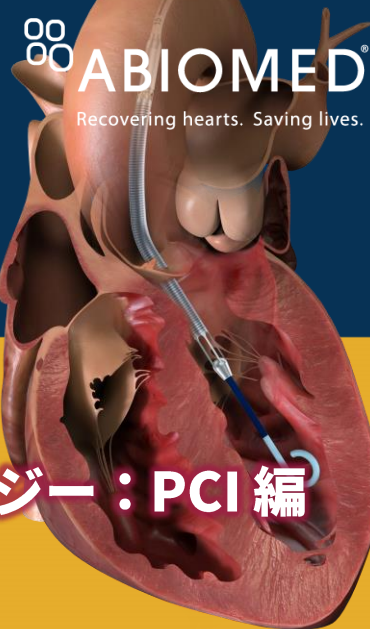


Interventional Heart Failure Therapy Case Club



心不全合併重症冠動脈疾患 ハートチームディスカッション

Impella を使った症例・使わなかった症例から考える至適血行再建ストラテジー：PCI 編

Case Presenter

Guest Commentator



岡本 直高 先生

大阪労災病院
循環器内科



中田 淳 先生

日本医科大学
心臓血管集中治療科



角辻 暁 先生

大阪大学
国際循環器学



堂前 圭太郎 先生

大阪警察病院
心臓血管外科

日時

2021年12月1日(水)
18:30 - 20:00

会場

Zoom ウェビナー
(事前登録制)



Director

Moderator



絹川 弘一郎 先生

富山大学



上妻 謙 先生

帝京大学



佐藤 直樹 先生

かわぐち心臓呼吸器病院



朔 啓太 先生

国立循環器病研究センター研究所



中田 淳 先生

日本医科大学

※ 本ウェビナーは、医療従事者を対象とした事前登録制セミナーです。上記の二次元バーコードから事前参加登録・申し込みをお願いいたします

※ 視聴用URLなどの情報は、お申し込み確認後に、別途メールにてご連絡いたします

本ウェビナーに関するお問い合わせ

日本アビオメッド株式会社 マーケティング japan_marketing@abiomed.com

販売名：IMPELLA 補助循環用ポンプカテーテル
承認番号：22800B2I00032000

一般的名称：循環補助用中心留置型ポンプカテーテル
医療機器クラス分類：IV 高度管理医療機器
特定保険医療材料機能区分：193 補助循環用ポンプカテーテル

販売名：IMPELLA 制御装置
承認番号：22800B2I00031000

一般的名称：循環補助用中心留置型ポンプカテーテル制御装置
医療機器クラス分類：III 高度管理医療機器/特定保守管理医療機器

選任製造販売業者：日本アビオメッド株式会社
外国特許承認取得者：ABIOMED, Inc.

Interventional Heart Failure Therapy Case Clubのご案内

Impella は、心原性ショック等の薬物療法抵抗性の急性心不全を適応として、現在、既に4,000例を超える国内症例経験が蓄積されています。Impellaは救命と心機能回復を目指して、様々な急性病態に使用されていますが、他の治療やデバイスと組み合わせることによって、より強力な血行動態の是正や救命が可能となる症例も存在します^{1,2}。重症化の一途をたどる心不全医療において、既存の内科的・外科的治療とImpellaをはじめとした最新デバイスを組み合わせるInterventional Heart Failure (IHF) Therapyは患者の予後改善とQOL向上に必要な不可欠となると考えられます。Impellaを含むIHF Therapyの達成には、心不全治療、冠動脈・ストラクチャーインターベンション治療、循環器集中治療、外科的治療、機械的補助循環治療、循環生理学など、様々な領域の専門性が求められ、その知識や経験の蓄積は容易ではありません^{3,4}。本ウェビナー(定期開催予定)では、各専門領域のエキスパートをお迎えしてIHF Therapyの実践例をディスカッションすることで、Heart Recoveryに取り組まれている医療従事者の皆様にとってよりよいIHF Therapy提供の一助になればと考えております。

1. Sobajima, Kinugawa, European Heart Journal- Case Reports. 2020. doi.org/10.1093/ehjcr/ytac418
2. Iida, Artif Organs. 2019 Aug;43(8):806-807. doi: 10.1111/aor.13434.

3. Panhwar, J Am Coll Cardiol. 2020 Jun 16;75(23):2984-2988. doi: 10.1016/j.jacc.2020.05.010.
4. Kapur, J Am Coll Cardiol. 2020 Jun 16;75(23):2987-2988. doi: 10.1016/j.jacc.2020.05.011.